

【全体目標】

目標項目	平成 29 (2017) 年度	現況値	目標値
75 歳未満のがんによる年齢調整死亡率の減少 (人口 10 万人対)	83.1 (平成 27 (2015) 年度)	69.0 (令和 3 (2021) 年度)	60.6 (令和 9 (2027) 年度)
現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 (%)	—	67.8 (平成 30 (2018) 年度)	80.0

【個別目標】

(1) がん教育・がん検診

目標項目	平成 29 (2017) 年度	現況値 (令和 4 (2022) 年度)	目標値
がん予防推進員の養成	8,154 名	8,772 名	10,000 名 (令和 10 (2028) 年度末)

目標項目			平成 28 (2016) 年度	現況値 (令和 4 (2022) 年度)	目標値 (令和 10 (2028) 年度)
がん検診受診率 (%) 注1	胃がん	40～69 歳	42.4	46.8	60.0
	肺がん	40～69 歳	51.0	50.3	
	大腸がん	40～69 歳	42.2	45.1	
	乳がん	40～69 歳	46.2	46.6	
	子宮頸がん	20～69 歳	42.5	42.4	

目標項目			平成 27 (2015) 年度	現況値 (令和 3 (2021) 年度)	目標値 (令和 9 (2027) 年度)
精密検査受診率 (%) 注2	胃がん		83.3	84.3	90.0
	肺がん		83.4	85.7	
	大腸がん		72.6	72.9	
	乳がん		84.2	88.9	
	子宮頸がん		86.9	86.7	

注1 「国民生活基礎調査」より。胃がんは、平成 28 (2016) 年度については過去 1 年、令和 4 (2022) 年度・令和 10 (2028) 年度 (目標値) については過去 2 年の受診率。肺・大腸がんは過去 1 年の受診率。乳、子宮頸がんは過去 2 年の受診率。

「国民生活基礎調査」は毎年実施されているが、がん検診受診率は、3 年に 1 度の大規模調査時のみ調査項目となるため目標値の最終確認は、計画最終年 (令和 11 (2029) 年度) ではなく、令和 10 (2028) 年の値で行う予定

注2 県保健医療部健康推進課の業務資料 (各がん種別「がん検診実施年報」) より

(2) がんの医療体制

目標項目	現況値 (令和 4 (2022) 年度)	目標値 (令和 11 (2029) 年度)
がん遺伝子パネル検査の出検数	261 検体	550 検体 (令和 10 (2028) 年度)
がん診療連携拠点病院にがん病態栄養専門管理栄養士を配置	5/9 病院 (9 名)	9/9 病院 (令和 10 (2028) 年度)
がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院以外の医療機関に所属する医師の茨城県緩和ケア研修会受講者数	763 人	1,000 人

(3) 生活支援体制

目標項目	現況値 (令和 4 (2022) 年度)	目標値 (令和 10 (2028) 年度)
がん相談支援センター相談員指導者研修を受講した相談員がいるがん相談支援センター数 (人数)	13/17 病院 (20 名)	17/17 病院 (24 名)
多職種からなるAYA支援チームを設置しているがん診療連携拠点病院数	1/9 病院	9/9 病院
患者サロンの設置医療機関数	14 病院 (令和 4 (2022) 年 8 月時点)	17 病院